

久喜市障がい者活躍推進計画における取組の実施状況（令和3年度）

I 数値目標の達成状況

1 採用に関する目標

○実雇用率（令和3年6月1日時点）

目標（法定雇用率）	達成度（実雇用率）	達成状況
2.6%	全体 2.99% 市長部局 3.33% 教育委員会 1.61%	達成

2 定着に関する目標

○定着状況（採用1年後の職場定着）

目標	達成度	達成状況
不本意な離職者を極力生じさせない。	令和3年度採用者の離職なし	達成

3 職場満足度に関する目標

○職場満足度（職場の満足度に関するアンケート調査結果より）（令和3年7月実施）

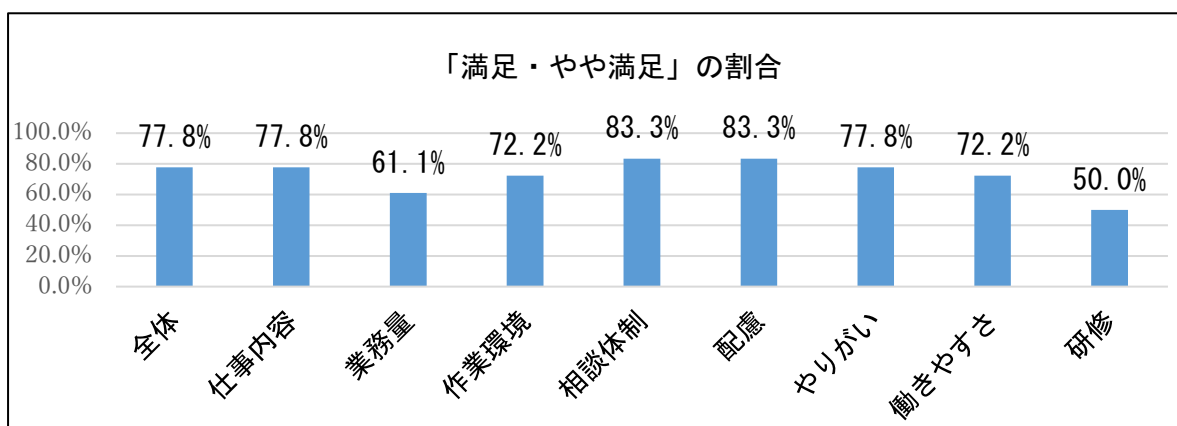
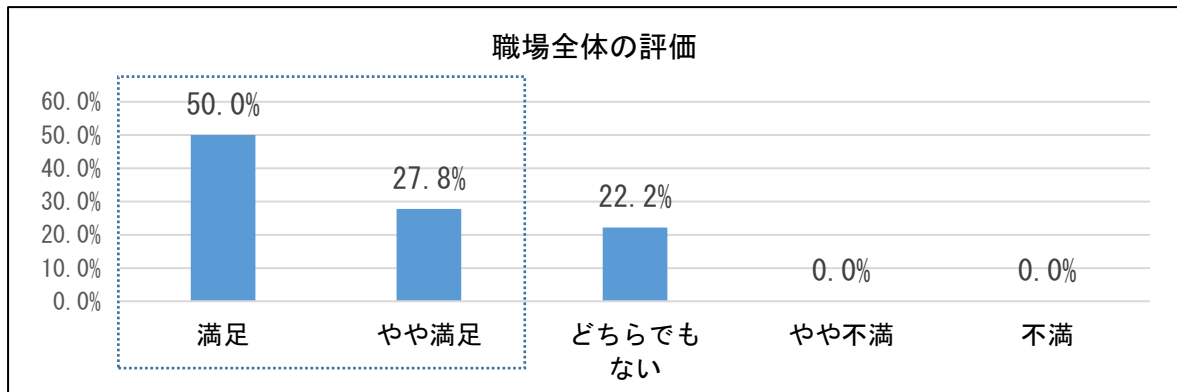
目標	達成度	達成状況
全体満足度が前年度を下回らない。（令和2年度 76.2%）	令和3年度 77.8%	達成 （+1.6ポイント）

令和3年7月に障がいのある職員を対象に職場の満足度に関するアンケート調査を実施した。（回収率78%）

結果は全体評価として、満足又はやや満足の割合が77.8%であった。

詳細項目においては、相談体制と配慮についての満足度が83.3%で最も高く、研修の満足度が50.0%で最も低い値であった。

障がいのある職員に対する「職場の満足度アンケート調査」の結果（令和3年7月実施）



Ⅱ 障がい者の活躍推進に向けた取組

1 障がい者の活躍を推進するための体制整備

(1) 障害者雇用推進者の選任

任命権者ごとに「障害者雇用推進者」を選出した。

(2) 障害者職業生活相談員の選任

人事課職員から1名「障害者職業生活相談員」を選任した。

(3) 相談しやすい体制の整備

障がいのある職員への人的サポート体制として「障害者職業生活相談員」が対応にあたりるとともに、身体や心の健康における相談先として、産業医の健康相談や臨床心理士によるメンタルヘルス相談窓口を案内した。

(4) 障がい者活躍推進チームの設置

令和3年10月1日に「久喜市障がい者活躍推進チーム設置規程」を整備した。

また、令和3年12月1日から12月28日までの間、障がい者活躍推進チーム構成員を対象に、電子会議室で「障がい者活躍推進検討会議」を実施し、本計画の取組状況の評価等を行った。

2 障がい者の活躍の基本となる職務の選定・創出

人事評価面談等により必要な配慮事項を確認するとともに、可能な限り障がい特性に配慮した業務の割り振りに努めた。

3 障がい者の活躍を推進するための環境整備・人事管理

(1) 職場環境

令和3年7月に、障がいのある職員を対象に「職場の満足度アンケート調査」を実施した。アンケート結果については、障がい者活躍推進検討会議の議題に取り上げ、職場環境の改善について協議した。

環境改善の具体的な取り組みとしては、上肢障がいのある職員が電話対応をしやすいように、ヘッドセットを支給した。また、職員研修においては、コロナ禍によりオンラインによる研修も実施した。

(2) 職員の採用

令和4年度の新規職員の採用に向けて、障がい者枠での採用試験を実施した。採用試験の実施にあたっては、近隣の特別支援学校や就労支援センター等へ受験案内を配布し応募者の拡大に努めた。

(3) 働き方

時差出勤やテレワーク（在宅勤務）、計画的な年次有給休暇の取得促進に努めた。

また、新型コロナウイルスへの感染予防のため、特に基礎疾患のある職員には週休日の振替出勤や時差出勤、テレワーク勤務を推奨した。

(4) キャリア形成

本人の障がい特性を踏まえつつ、様々な業務を経験することでキャリアを形成することが出来るよう、ジョブローテーションによる人事配置に努めた。

(5) その他の人事管理

歩行が困難な職員等に対し、庁舎近くの駐車場を利用できるよう配慮を行った。